

＜学校名＞ 白岡市立白岡東小学校

＜所在地＞ 白岡市新白岡 2-28-1

＜電話＞ 0480-92-5521

＜本事例の特徴＞

本校は、学期に2～3週間ALTが来校している。国についての紹介やゲームなどを教えてもらいながら国際理解を図っている。また日々の外国語活動の授業は、HRT主導で展開している。電子黒板を使いながら、掲示物を用いて楽しく活動している。

＜具体的な取組＞

キーワードゲームでは、月ごとの言い方を聞き取り、楽しみながら繰り返し月名を言うことができた。また集中力ゲームでは、グループごとに月カードを聞こえた順に並び替える活動を行った。個人ではなく、グループで協力して活動することができた。



道案内をする活動では、ALTに自国の建物を使ってオリジナルの町を作り、楽しく活動することができた。またゲーム活動を取り入れるに当たって、発音練習をたくさん取り入れ、自信をもって活動できるようにしている。そのため、ゲーム活動に積極的に参加している。

＜成果と今後の課題＞

外国語活動の学習においては、「体験的な活動を積極的に取り入れる」ということを目標に掲げ授業を行っている。主にゲーム活動を取り入れ、児童は楽しく活動している。

ゲーム活動では、様々な授業形態を工夫した結果、英語が少々苦手な児童も楽しんで活動することができた。また、英語による活発なコミュニケーションが図れるようになってきた。児童からも、「外国語活動が楽しみだ」「もっとやりたい」という声がよく聞こえてくるようになった。

しかし、楽しいというだけで終わってしまいがちなので、授業の振り返りを行っていくことが今後の課題である。そこで、ゲーム活動を行う際には、楽しいだけで終わらせないよう「ゲーム活動を行う意味」をよく考えていく必要がある。また、評価に関しては、児童一人一人の活動の記録は取っているが、体系的な評価の工夫を学校全体でこれから考えていきたい。さらに児童自らが「英語を話したい」と思わせるような場面を作り、児童の自主的な活動を積極的に取り入れていきたい。